

脱炭素経営フォーラム

# サプライヤーへの GHG排出量算定支援と 当社Scope3削減に向けて

2025年3月5日

株式会社カナエ

# 1. 会社概要

会社名	株式会社カナエ
代表取締役社長	樋高 成憲
設立	1956年（昭和31年）3月29日
資本金	3億5,381万4,600円
売上	30,812百万円（2024年10月期）
従業員	535名（2024年10月現在）
本社	大阪市中央区城見1丁目2番27号 クリスタルタワー-23階

3  
つのチカラで、  
安心を包む

「**包装材料**」「**包装加工**」「**包装機械**」この3つの要素が  
バランスよく調和してはじめて「商品」が完成すると考えています。

## 包装材料



- ・包装材料メーカーとのネットワーク
- ・蓄積されたデータの分析と提供

## 包装加工



- ・包装技術開発センターでの開発
- ・受託包装加工の専用工場保有

## 包装機械



- ・エンジニアリング部門による  
包装機械、システム提案

## 2030年ビジョン

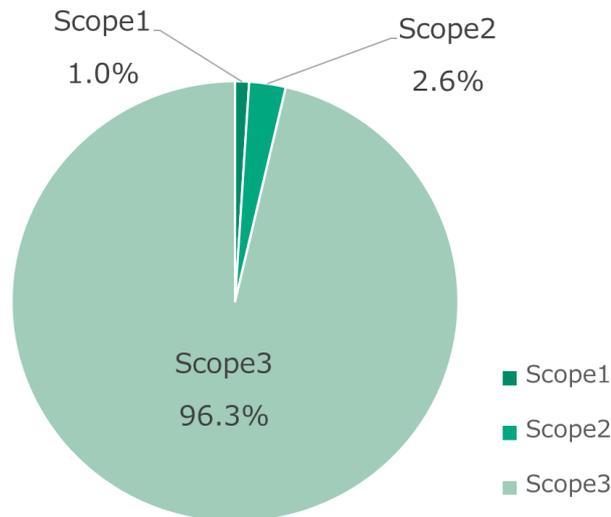
カナエは新しいパッケージで市場創造し、持続可能な社会に貢献します。

## 2. 本事業の参画目的

当社グループの2023年度（SBT基準年）GHG排出量

Scope1,2,3合計・・・**232,964** tCO<sub>2</sub>

Scope	排出量(tCO <sub>2</sub> )
Scope1	2,364
Scope2	6,166
Scope3	224,434



### Scope3 排出量上位10傑

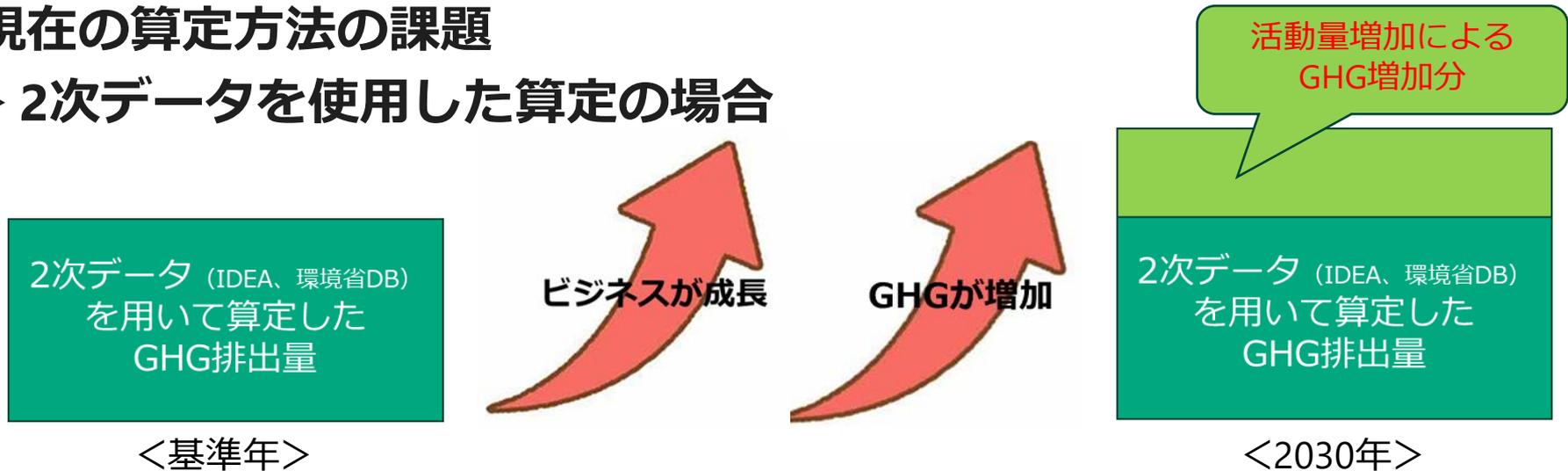
1. 購入した製品・サービス	56.3%
2. 販売した製品の廃棄	20.8%
3. 販売した製品の加工	15.9%
4. 資本財	2.3%
5. 投資	1.9%
6. 輸送配送（上流）	1.5%
7. Scope1,2に含まれない 燃料・エネルギー関連活動	0.7%
8. 事業から出る廃棄物	0.3%
9. 輸送配送（下流）	0.2%
10. 雇用者の通勤	0.1%

赤字：当社SBT削減対象カテゴリ

## 2. 本事業の参画目的

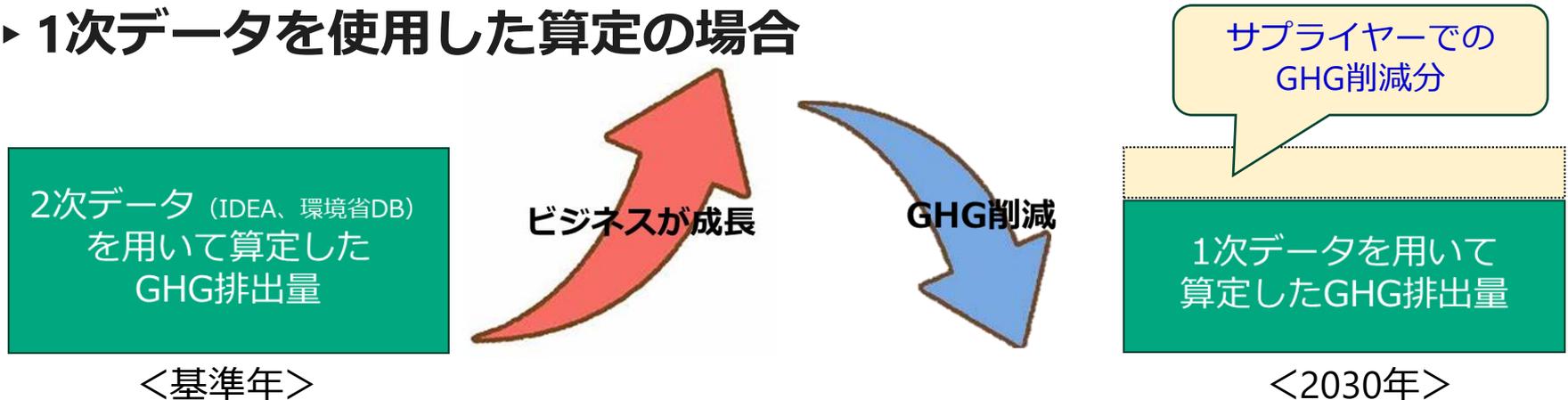
### 現在の算定方法の課題

#### ▶ 2次データを使用した算定の場合



### 当社のねらい

#### ▶ 1次データを使用した算定の場合



# 3. 本モデル事業における取組み成果

## 構成企業へのScope1,2,3算定支援



算定完了

- 算定窓口、算定担当者を対象に、SBTの概要、当社の目的、本事業の概要について説明
- 算定方法の説明
- Scope1,2の算定対象となるエネルギー抽出から算定実施まで、1つのファイルで一元的に算定できるツールを作成、提供
- 算定内容の確認とチェックバック
- 各カテゴリの解説と算定方法の説明
- スムーズに算定いただくために、Scope3排出量算定方針とScope3算定ツールを作成、提供
- 算定内容の確認とチェックバック

# 3. 本モデル事業における取組み成果

## 構成企業の1次データ

算定内容	構成企業A	構成企業B
1次データ	約 3 t CO2/1百万円	約 5 t CO2/1百万円
2次データを使用した カテゴリ1排出量	約 8 0 0 t CO2	約 7, 0 0 0 t CO2
1次データを使用した カテゴリ1排出量	約 5 0 0 t CO2	約 1 0, 0 0 0 t CO2

※カテゴリ 1 の算定は調達金額ベース

# 3. 本モデル事業における取組み成果

## 構成企業の意識醸成結果

構成企業に今回の取組みを振り返っていただき、構成企業での算定作業の改善点発見と、当社に向けてエンゲージメント方法の改善の機会を指摘いただくことを目的にアンケートを実施。

### <アンケートに寄せられた構成企業の声（一部抜粋）>

#### ■意識の変化

✓ 今回の取り組みがGHG排出量削減に向け、具体的に取り組むスタートラインになったと思う。（構成企業 社長様コメント）

#### ■当社への要望

✓ 製品当たりのGHG削減のために、製品製造過程における品質担保基準の見直しや、顧客やユーザーへの承認を得て進める部分がどうしても必要となる。そのような場合にカナエの協力並びに理解を得たい。

# 3. 本モデル事業における取組み成果

## カーボンフットプリント（CFP）検討



- ・当社オリジナル開発品（7連コスモ）のCFP算定をおこなっている。
- ・フィルムの構成や厚みなどが変われば、活動量がさがりGHG排出量の低減が見込まれる。

標準プロセス	管理項目名	原単位	活動量	単位	排出量 (kg-CO <sub>2</sub> eq)	割合
A1:原材料・部材調達	PETフィルム①	ポリエチレンテレフタレート		kg		3%
A1:原材料・部材調達	AL箔	アルミニウムはく		kg		22%
A1:原材料・部材調達	PETフィルム②	ポリエチレンテレフタレート		kg		3%
A1:原材料・部材調達	LLDPEフィルム	低密度ポリエチレン		kg		3%

今後は構成企業とも協力し、原材料、工程におけるGHG排出量削減結果を当社製品ごとのGHG排出量算定に反映し、より各企業での取組み成果を当社排出量算定に反映できるようケースを増やす。

# 3. 本モデル事業における取組み成果

## Scope3 基準年比25%削減に向けたシミュレーション

### <SBT申請内容に沿ったシミュレーション>

Scope3削減対象	基準年排出量	削減後の排出量	想定削減率
カテゴリ1	126,373	103,626	18%
カテゴリ3	1,547	1,547	0%
カテゴリ5	590	413	30%
カテゴリ12	46,638	46,638	0%
合計	175,148	152,224	<b>13%</b>

### <見直し後のシミュレーション>

Scope3削減対象	基準年排出量	削減後の排出量	想定削減率
カテゴリ1	126,373	103,626	18%
カテゴリ5	590	413	30%
カテゴリ10	35,737	17,869	50%
合計	162,700	121,907	<b>25%</b>

# 4. 次年度以降の検討課題

## 構成企業への支援課題

### <算定前の説明、事前教育について>

- ・ GHG排出量の算定および削減に取り組むメリットをご理解いただく
- ・ 相当の工数が必要であることを説明の上、全社的な取り組みをご認識いただく

### <Scope1,2,3 算定支援について>

- ・ 算定支援ツールをよりわかりやすく、使いやすく
- ・ 金額データから重量データへの移行支援（IDEA導入支援等）
- ・ 依頼側（当社）を支援いただく相談窓口の設置

### <算定後の削減支援>

- ・ 当社としての支援方法決定（Scope1,2）
- ・ 環境対策の設備投資等に対応した補助金の情報提供（Scope1,2）
- ・ GHG排出量が少ない包材構成の検討（Scope3）
- ・ 包材構成変更時の当社得意先に対する協力要請（Scope3）

# 4. 次年度以降の検討課題

## 当社の内部課題

### <130社を超えるサプライヤー対応>

- ・ エンゲージメント先とするサプライヤーの優先順位付け
- ・ 当社グループ内における、GHG排出量算定支援要員の増員

### <カテゴリ10の削減>

- ・ ここまでに掲げた課題とほぼ同じ
- ・ 営業本部のとの連携が新たに必要

**ご清聴、ありがとうございました。**

**株式会社カナエ  
経営企画部**